経済産業大臣賞
「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

住友電気工業株式会社

所在地

大阪府大阪市

受賞テーマ

グローバル３Ｒ活動の推進

同社では、以前から省資源リサイクル活動に取り組んできたが、分社化や海外展開により事業拠点が広がり、グループ全体としての活動推進が必要になってきた。そこで2003年度より「アクションECO-21」という名称の、地球温暖化防止、省資源、リサイクル推進などを目指した、海外含む全グループ会社に対する定量的な目標を掲げ、その中で３Ｒ推進の取組を進めてきた。当取組は、各事業所での３Ｒへの取組の詳細内容ではなく、「アクションECO-21」の枠組みの元、住友電工グループ全体として取り組んでいるグローバル３Ｒ推進活動全般に関するものである。なおこの目標は、2～3年おきに達成状況、社会情勢等に応じて見直しを行い、活性化を図っている。

【目標設定経緯・実績（アクション ECO-21）　】

		活動前	Ⅰ期 2003～04年度	Ⅱ期 2005～07年度	Ⅲ期 2008～09年度	Ⅳ期 2010～12年度	Ⅴ期 2013～14年度
ゼロエミ率	目標	－	1%以下	1%以下	1%以下	0.5%以下	0.3%以下
	実績	31.9% （2002年度）	5.9%	2.9%	1.0%	0.1%	0.1%
廃棄物削減	目標	－	－	04年度比 原単位 10%削減		09年度比 原単位 3%削減	12年度比 2%削減
	実績	－	－	17%		5%	5%
ゼロエミ率海外	目標	－	－	－	－	5%以下	5%以下
	実績	31.3% （2009年度）	－	－	－	14%	11%
梱包材	目標	－	01年度比 原単位 12%削減	04年度比 原単位 2%削減	－	－	－
	実績	－	14%	12%	－	－	－

(1) リサイクル活動に関しては、いわゆるゼロエミッション活動（廃棄物量に占める単純焼却及び埋立て処分量の割合を0に近づける活動で、つまり、リサイクル率を限りなく100%に近づける活動）を旗印に国内及び海外で実施。国内に関しては0.1%以下（リサイクル率99.9%以上）を達成、海外に関しても従来ゼロエミッション率31%（リサイクル率69%）を11%（リサイクル率89%）まで下げ、2014年度はさらに5%以下（リサイクル率95%以上）を目標に活動実施中（この目標値は社外に公表）である。

(2) 次にリユース及びリフューズ活動、つまり廃棄物再利用及び廃棄物発生抑制については、グローバル全体活動として①製品梱包材の削減（ドラム等の再利用や梱包材そのものの削減）による廃棄物削減、②廃棄物を有価物として利用する事で廃棄物発生削減や、廃液や廃溶剤を処理して再び使用する、あるいは、廃棄物容量の減容化の実施等に取り組んでいる。なお同社では使用済み電線・ケーブル等を回収し、銅原料、金属クズ、被覆原料等に再生利用しており、回収した電線・ケーブルはほぼ100%使用している。

(3) そしてさらに、廃棄物だけでなく、廃棄物も含んだ不要物そのものの発生を削減する活動を開始した。従来より品質向上活動として品質管理部門が中心となり材料ロスや半製品ロスの削減といったロス減活動に取り組んでいるが、このロス減活動も廃棄物削減活動に含めて、マテリアルフローコスト会計の観点からの新たな Reuse 活動の取組を開始した。